

新刊のご案内 ※ゲラが欲しい方ご連絡ください

幡野広志 著 『なんで僕に聞くんדרらう。』

2020年2月6日、
これまでの著作もベストセラーになっている、
写真家・幡野広志さんの新刊が発売となります。

ウェブメディア cakes で、
「史上最も読まれた連載」の書籍化です！

(cakes では「幡野広志の、なんで僕に聞くんדרらう。」というタイトルで、人生相談のコーナーを持ち、
今でも連載は続いています。)

幡野さんは 2018 年に SNS で余命宣告されたことを告白しました。
以来、幡野さんのもとに大量の人生相談が届くように。
相談内容は、病気のことに限らず、人生のこと、恋愛のこと、不倫のこと、自殺したいなんてものも……。
どんな相談にも、幡野さんが真剣に向き合います。
その回答の、鋭さ、厳しさ、そして暖かさに、ハマる人が続出しています。
幡野さんの言葉は、「新しい常識」といってもいいものであり、まさに、現代人の「命の教科書」です！

「家庭のある人の子どもを産みたい」「親の期待とは違う道を歩きたい」「いじめを苦しんで死にたがる娘の力になりたい」「ガンになった父になって声をかけたらいかかわからない」「自殺したい」「虐待してしまう」「末期ガンになった」「お金を使うことに罪悪感がある」「どうして勉強しないといけないの？」「風俗嬢に恋をした」「息子が不登校になった」「毒親に育てられた」「人から妬まれる」「売春がやめられない」「精神疾患がバレるのが怖い」「兄を殺した犯人を許せない」……

**なぜみんな、余命数年の写真家に人生相談をするのか？
人生相談を通して「幡野さん」から届く言葉は、
今を生きるすべての人に刺さる”いのちのメッセージ”だ！**

○タイトル なんで僕に聞くんדרらう。

○著者名 幡野広志 1983年、東京生まれ。2004年、日本写真芸術専門学校中退。2010年から広告写真家・高崎勉氏に師事、「海上遺跡」で「Nikon Juna21」受賞。2011年、独立し結婚する。2012年、エプソンフォトグランプリ入賞。2016年に長男が誕生。2017年多発性骨髄腫を発病し、現在に至る。著書に『ぼくが子どものころ、ほしかった親になる。』(PHP 研究所)、『写真集』(ほぼ日)、『ぼくたちが選べなかったことを、選びなおすために。』(ポプラ社)。いずれも 4 万部超の売れ行き。

○定価／発売日／体裁 1500円+税 / 2月6日 / 四六版並製 272ページ

著者へのインタビューや、お問い合わせはこちら

(株)幻冬舎 編集本部第一編集局

袖山満一子(そでやままいこ)

携帯:090-1604-9861

e-mail: sodeyama@gentosha.co.jp

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 4-9-7

TEL03-5411-6211 FAX03-5411-6212

**cakes 史上最大!
1000万人が読んだ連載
の書籍化!**

